

On Being Human

「人間とは何か」を問い続ける

2027

田園調布学園大学大学院

人間学研究科

子ども人間学専攻 ● 修士(子ども人間学)
小学校教諭専修免許状 幼稚園教諭専修免許状

心理学専攻 ● 修士(心理学)
公認心理師(受験資格)

田園調布学園大学 大学院

人間学研究科

子ども人間学専攻 | 心理学専攻

田園調布学園大学大学院人間学研究科がめざすのは、実践を確かに積みながらその経験を振り返り、問い直し、次の行動に生かせる力を備えた人材の育成です。

教育・保育、心理支援の現場で生じる出来事を、経験のままにせず「省察」し、課題を発見し、柔軟で的確な対応へつなげる姿勢を重視しています。ここでいう「省察」とは、自分の行動・判断・価値観を丁寧に見つめ、改善へと結びつける思考のプロセスのこと。実践を次の一歩につなぐための要となる力です。

人間学研究科は、高度な専門性を磨くと同時に、「人間とは何か」を問い続ける姿勢を重んじています。専門知識や技法の背景にある意味を問い直し、支援や関わりの本質を捉えながら実践できる人材の育成をめざしています。

学術大学院で 「人間」から 「専門」を問う

田園調布学園大学 学長
米山 光儀

田園調布学園大学大学院は、人間学研究科修士課程のみの大学院です。同研究科は子ども人間学専攻の1専攻でスタートしましたが、その後心理学専攻が設置され、現在は2専攻になっています。子ども人間学専攻では、幼稚園教諭専修免許状・小学校教諭専修免許状を取得でき、心理学専攻では公認心理師の受験資格を得られるため、両専攻ともそれらの資格を取得することをめざす院生も多くいます。

このように、本研究科では、多くの院生たちは修士号を取得するための研究指導だけでなく、専門職に就くための教育を受けています。

しかし、ここで注意していただきたいのが、田園調布学園大学の大学院は、専門職大学院ではなく、学術大学院であるということです。研究科の名称に「人間学」がついていることからわかるように、本研究科では、人間を研究することを基礎として、その上で保育学・教育学や心理学などの個別分野の学問研究を行っています。高度専門職になるためには、当然のことながら専門知識や技法を知らなくてはなりません。その根底には、人間を問う姿勢が必要であり、学問研究をすることで、人間にとっての専門知識や技法の意味を問い直していくことが求められています。

単に資格を取得して専門職に就くということではなく、大学院で「人間」を問う学問研究を行うことによって、自惚れることのない「専門人」を輩出していければと思っています。



相互に刺激し、 高め合える環境で 自ら考え組み立てる力を養う

田園調布学園大学大学院
人間学研究科 研究科長 / 子ども人間学専攻
犬塚 典子

子ども人間学専攻では、「子どもを人間としてみる」ことを軸としています。「子ども」という概念が生まれたのは実は近代になってからのことで、それ以前は「身体の小さな大人」として扱われていたのです。17世紀のこの「子どもの発見」以降、世界中でさまざまな教育や支援が広がっていききましたが、現代は子どもを「人間としてみる」という視点が欠如する傾向が見られます。とりわけ昨今の教育現場では効率化が求められるあまり、多くの問題や行き詰まりが起こっています。そこでもう一度、「子どもの様子をよく見る」という原点に立ち返り、教育全体を立て直そうというのが一つの大きなテーマとなっています。

私自身が重視しているもう一つのテーマは「人間を子どもとしてみる」ということです。法令で「成人」として扱われる「大人」は必ずしも完成された存在ではありません。

本大学院には20～60代の幅広い年代の院生が在籍しています。保育園や幼稚園、小学校で働きながら学ぶ人が多く、互いに刺激し合いながら「人間とは何なのか」を突き詰めていく学びは、生涯学習の一環となるでしょう。

私たちの社会にはプロの専門家だけでなく無償もしくはきわめて安価に専門的な活動に従事し省察的な実践を行う人々もいます。これまで当然のこととして捉えてきたことを一緒に問い直し、自分自身を振り返りながら「省察的実践家」としての素養を、本大学院で磨いてもらいたいと思います。



実践と探究の 両輪で育む 心理学の未来

田園調布学園大学大学院
人間学研究科 副研究科長 / 心理学専攻
黒田 美保

心理学専攻では、高度な専門性と実践力を備えた人材の育成をめざし、多様なカリキュラムと充実した研究指導体制を整えています。2017年に創設された国家資格「公認心理師」は、医療・保健、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働という5つの分野を中心に、幅広い領域での活躍が期待されています。複雑化する現代社会の課題に応える心理専門職として、その重要性はますます高まっていくでしょう。

こうした社会的ニーズに応えるために、本大学院心理学専攻では「省察的実践家の養成」を教育理念に掲げ、知識や技術だけでなく、自らの在り方を省みながら学び続ける姿勢を重視しています。心理相談や心理検査を含む実習にも力を入れており、多様な学外実習に加え、学内に設置された心理相談室での実践もカリキュラムに組み込まれています。

教員陣には、スクールカウンセラーや医療機関の心理職、心理支援実践者など、豊かな実務経験を持つ専門家がそろっており、多角的な視点からの丁寧な指導が可能です。

本専攻では、心理学そのものに関心を持ち、学術的な探究を志す学生の学びも大切にしています。公認心理師を志す方も、心理学の探究に力を注ぐ方も、自分の可能性を信じて前進してほしい。自分を信じるのが、他者を支え、理解し、信じる力へとつながります。人間を深く見詰め、自己と向き合いながら、それぞれの歩みを着実に進めていってください。



3つの特色

入学者データ

1 働きながら学べる学修環境

● 平日夜間・土曜日開講

社会人の方も就業しながら通学できるように平日夜間と土曜日の日中に授業を開講します。

授業時間	月～金	土
1限目 9:00～10:30		授業時間
2限目 10:40～12:10		
3限目 13:00～14:30		
4限目 14:40～16:10		
5限目 16:20～17:50		
6限目 18:10～19:40	授業時間	
7限目 19:45～21:15		

● 長期履修制度

仕事や育児・介護などの事情により、標準の修業年限での履修が難しい学生を対象に、修業年限を3年または4年に延長できる制度です。計画的に学修を進め

られるよう配慮されており、修業年限を延長した場合でも、授業料・施設費・教育充実費は2年分のみで、経済的な負担を抑えられます。申請は入学試験時または入学後に行うことができ、入学後1回に限り履修期間の見直しも可能です。

● 使いやすい学習施設

【図書館】
平日・土曜日に開館しており、地下1階、地上2階建ての図書館にはさまざまな分野の書籍・雑誌があります。研究や自習等に活用されています。



【大学院生研究室】

研究科共通の院生研究室です。研究のために使用できる書棚や個人ロッカー、共同PCやプリンタがあります。



【教室・セミナー室】

大学院の授業はグループワークなど双方向コミュニケーションを含む授業も多いため、行事や授業内容・履修者数に応じて使用されています。



2 高度な専門的職業人、研究者をめざす

本大学院では、子ども人間学専攻・心理学専攻の両専攻において、高度な資格・免許の取得を最短2年でめざせます。

子ども人間学専攻 小学校教諭専修免許状 幼稚園教諭専修免許状

「専修免許状」を取得することで、これまでの教育現場での経験を、大学院で体系的に磨き直し、次のステージへと発展

させることができます。高度な専門性は、日々の授業や指導の質を高めるだけでなく、地域によっては人事評価や管理職登用にもつながります。現職を続けながら学び、将来、学校運営を担う立場を見据えたい教員にとって、有効なステップとなります。

心理学専攻 公認心理師(受験資格)

公認心理師は、「公認心理師法」に基

づく国家資格で、保健医療・福祉・教育その他の分野において、心理学の専門知識と技術を用い、心の支援を行う専門職です。心理状態の観察・分析、本人や関係者への相談・助言、心の健康に関する教育や情報提供を担います。本大学院心理学専攻では、必要な科目を体系的に学ぶことで、国家試験の受験資格を取得できます。(ただし、学部においても定められた科目を履修している必要があります。)

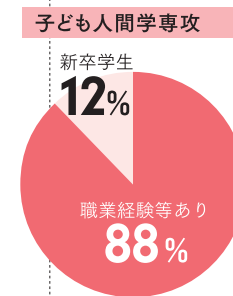
3 研究を基礎から学べる「基礎科目・基本科目」の充実

本大学院では、研究に必要な基礎力を段階的に養うため、「基礎科目」「基本科目」を体系的に配置しています。基礎科目では、両専攻とも「人間学総論」を通して、

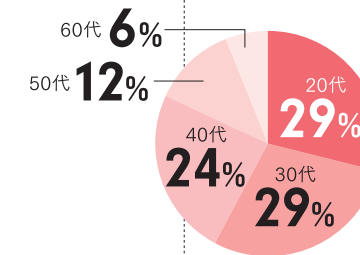
人間や子どもを捉えるための学問的基盤を身につけます。基本科目では、「人間学概論Ⅰ～Ⅴ(哲学・文学・政治・芸術・自然と人間)」を通じて、

人間とは何かを俯瞰的かつ包括的に探究し、省察的实践家としての土台を固めます。さらに「人間学研究法」により、修士論文作成に必要な研究方法を基礎から学びます。

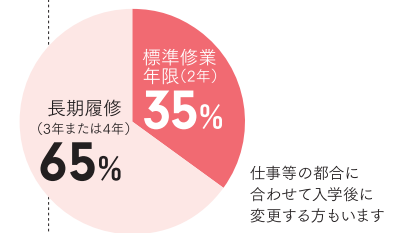
● 入学時の構成比率 (2022～2026年度)



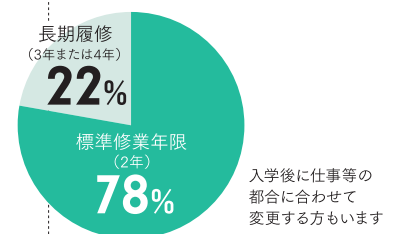
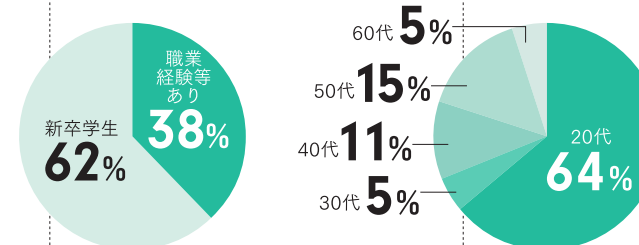
● 入学時の年齢構成 (2022～2026年度)



● 入学時の履修状況 (2022～2026年度)



心理学専攻



● 就学動機 (複数回答可)

子ども人間学専攻(2025・2026年度)

・専門性の学び直しや自己研鑽を行いたいから	6名
・仕事と両立しやすい通学環境だから	5名
・経験を踏まえ、子どもや人の成長に関わる学びを深めたいから	5名
・子ども・家庭・地域に貢献したいから	5名
・通学しやすい立地・時間条件だから	3名
・保育・教育・対人支援の実践力を高めたいから	3名
・キャリアや人生の節目に、関心のあった学びに挑戦したいから	3名
・第二のキャリアや定年後も続けられる専門性を考えているから	3名
・田園調布学園大学の学士課程で学んだから	2名
・保育・教育・福祉分野の高度資格取得をめざしているから	2名
・相談・対人援助業務に専門性を活かしたいから	2名

心理学専攻(2026年度)

・公認心理師等の職業人をめざしているから	13名
・仕事と両立しやすい通学環境だから	9名
・相談・対人援助業務に専門性を活かしたいから	7名
・心理学を通じて地域・社会に貢献したいから	7名
・通学しやすい立地・時間条件だから	6名
・人生やキャリアの節目に、関心のある心理学に挑戦したいから	5名
・田園調布学園大学の学士課程で学んだから	4名
・専門性の学び直しや自己研鑽を行いたいから	4名
・第二のキャリアや定年後も続けられる専門性を考えているから	4名
・経験を踏まえ、子どもや人の成長に関わる学びを深めたいから	3名
・保育・教育・対人支援の実践力を高めたいから	2名
・子ども・家庭・地域に貢献したいから	2名

● 通学エリア (過去5年間)

10名	神奈川県川崎市
15名	神奈川県横浜市
12名	神奈川県 その他市町村
14名	東京都23区
	東京都その他市町村
2名	首都圏近郊



人間学研究科

子ども人間学専攻

修士課程

子ども人間学専攻では、日々の保育・教育実践を「省察」し、子どもの姿や環境を多面的に捉え直す視点を重視。

現場で生じる課題を見だし、状況に応じて柔軟に対応できる力を育成します。

子どもという存在を通して“人間とは何か”を問い、子どもの育ちと保育・教育のあり方を探究。

現代の子どもをめぐる問題も含め、省察によって課題の本質を捉え、より良い実践につなげます。

子どもを人間として尊重し、その成長を支える実践者を育成します。

取得できる学位

修士
(子ども人間学)

取得可能な資格

小学校教諭専修免許状
幼稚園教諭専修免許状

標準修業年限

2年
※長期履修制度有り
(修業年限を3年または
4年に延ばすことが可能)

授業

平日夜間
(18:10～)
および土曜日

修士論文テーマ (2024・2025年度の例)

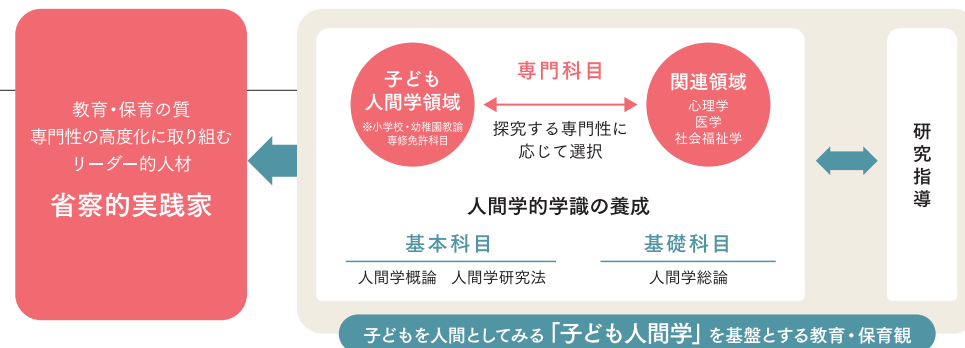
論文タイトル	指導教員	
	主指導教員	副指導教員
保育者主体・段階的乳児園庭整備における子どもの姿の変化、保育者(個人・組織)の意識変容に関する研究—環境の再構成の視点を踏まえて—	仙田 考 准教授	米山 光儀 教授
仮面ライダー像の変容—仮面ライダーシリーズの比較研究—	安村 清美 教授	—
公立保育所に勤務する保育士の専門性・専門領域についての質的研究	犬塚 典子 教授	—
幼稚園教育要領(1964)の成立と背景—教材等調査研究会幼稚園教育小委員会(1961～1964)に焦点をあてて—	犬塚 典子 教授	仙田 考 准教授
日本の出産習俗から見える子ども観—産屋のある地域に注目して—	米山 光儀 教授	犬塚 典子 教授
自己の変容と生成による中堅保育者の成長の過程—保育者としての転機とその専門性の様相に着目して—	内藤 知美 教授	仙田 考 准教授
保育現場における「気になる子ども」の認識から受容まで—「気になる子ども」から「気にしていく子ども」のまなざしへ—	安村 清美 教授	犬塚 典子 教授
教育学から見える病弱教育	米山 光儀 教授	内藤 知美 教授
子どもの口から見える歯科的健康格差	米山 光儀 教授	生田 久美子 教授

開講科目一覧 (2026年度)

※開講科目および担当教員は変更になる場合があります

科目区分	授業科目名	担当教員	単位数	履修区分	配当学年	教職科目 (小)	教職科目 (幼)	
基礎科目	人間学総論	米山 光儀	2	必修	1年			
基本科目 哲学・文学・政治・芸術・自然の視点から人間を総合的に捉え、省察的実践家としての基盤を固め、研究の基礎力を養います。	人間学概論Ⅰ(哲学と人間)	安藤 真穂	2	選択必修	1・2年			
	人間学概論Ⅱ(文学と人間)	安藤 公美	2	選択必修	1・2年	●	●	
	人間学概論Ⅲ(政治と人間)	藤森 智子	2	選択必修	1・2年	●	●	
	人間学概論Ⅳ(芸術と人間)	安村 清美・三政 洋一	2	選択必修	1・2年	●	●	
	人間学概論Ⅴ(自然と人間)	仙田 考	2	選択必修	1・2年	●	●	
	人間学研究法	犬塚 典子・横尾 暁子	2	必修	1年			
専門科目	子どもの人間学領域 子どもを人間として捉え直し、発達・学び・文化の視点から教育・保育実践を理論的に探究します。	教育的ケアリング特論	吉國 陽一	2	選択	1・2年	●	●
	学び学特論	生田 久美子	2	選択	1・2年	●	●	
	保育学特論	内藤 知美	2	選択	1・2年		●	
	子ども思想史特論	杉下 文子	2	選択	1・2年	●	●	
	保育実践研究	高嶋 景子	2	選択	1・2年		●	
	保育者特論	高嶋 景子	2	選択	1・2年		●	
	子ども・子育て支援実践研究	犬塚 典子	2	選択	1・2年	●	●	
	児童家庭福祉特論	渡辺 令子	2	選択	1・2年	●	●	
	家族社会学特論	小玉 亮子	2	選択	1・2年	●	●	
	子ども政策特論	渡邊 英則	2	選択	1・2年	●	●	
	教育学特殊研究	米山 光儀	2	選択	1・2年	●	●	
	子どもとアート論	安村 清美・斉木 美紀子	2	選択	1・2年		●	
	子どもとことば論	内藤 知美	2	選択	1・2年		●	
	子ども環境学特論	仙田 考	2	選択	1・2年	●	●	
	発達心理学特論	横尾 暁子	2	選択	1・2年	●	●	
	保育・教育課程研究	天野 珠路	2	選択	1・2年		●	
	子どもと英語特論	寺井 敦子	2	選択	1・2年	●	●	
	学校等研究実習	小泉 和博	1	選択	1・2年	●	●	
	関連領域 心理学・医学・社会学・福祉学の知見を取り入れ、子どもと社会の関係を多面的に理解します。	主権者教育特論	國見 真理子	2	選択	1・2年	●	
	障害児・者福祉特論(インクルージョン論を含む)	新井 雅明	2	選択	1・2年			
地域福祉特論	和 秀俊	2	選択	1・2年				
精神医学特論	新井 久稔	2	選択	1・2年				
臨床心理学特論	井上 直美	2	選択	1・2年				
教育分野に関する理論と支援の展開	犬塚 秀実	2	選択	1・2年	●			
研究指導 1年次に自分自身の研究テーマと方法を確立し、熟成させながら、2年次に調査・分析を進め、成果として論文にまとめます。	研究指導Ⅰ	米山 光儀・犬塚 典子・安村 清美・内藤 知美・仙田 考・横尾 暁子	2	必修	1年			
	研究指導Ⅱ	米山 光儀・犬塚 典子・安村 清美・内藤 知美・仙田 考・横尾 暁子	2	必修	1年			
	研究指導Ⅲ	米山 光儀・犬塚 典子・安村 清美・内藤 知美・仙田 考・横尾 暁子	2	必修	2年			
	研究指導Ⅳ	米山 光儀・犬塚 典子・安村 清美・内藤 知美・仙田 考・横尾 暁子	2	必修	2年			

カリキュラム



履修モデル

01

小学校教諭専修免許状を取得し、学校等の現場で教育の質の向上に取り組む
高度な専門的職業人をめざす

履修モデル

02

幼稚園教諭専修免許状を取得し、乳幼児教育施設等の現場で保育の質の向上に取り組む
高度な専門的職業人をめざす

履修モデル

03

乳幼児教育施設・子ども家庭支援機関で、保育の質の向上、相談支援を実践する
高度な専門的職業人をめざす

修了要件

基礎科目2単位、基本科目中「人間学研究法」は必修、その他の基本科目から4単位選択必修、専門科目から14単位以上を修得、研究指導8単位を修得し、計30単位以上を修得すること。かつ、修士論文を提出してその審査に合格すること。

Topics

DCU 子どもひろば:みらい

「DCU子どもひろば:みらい」は、田園調布学園大学が運営する子育て支援室です。大学内の施設を活用し、親子が気軽に立ち寄り、ゆったりと過ごしながら子育てを楽しめる場として開かれています。専属の保育士や大学の教職員が待機し、子育てや発達についての相談にも応じています。子ども人間学専攻の大学院生は、専属の保育士、田園調布学園大学の学生・教職員と一緒に、スタッフとして参加することができます。



専任教員(子ども人間学専攻)

位 学位 学 主な経歴(学歴) 職 主な経歴(職歴) 研 主たる研究領域・テーマ 活 主な社会活動 会 所属学会 著 主な著書・論文

米山 光儀
教授(学長)



位 教育学修士
学 慶應義塾大学社会学研究科教育学専攻博士課程単位取得満期退学
職 慶應義塾大学教職課程センター助手・専任講師・助教・教授を経て現職
研 近代日本教育史、福澤論吉研究、自由大学運動研究
活 東京都品川区校区外部評価委員、公益財団法人福澤旧邸保存会理事、世田谷市民大学運営委員
会 教育史学会、全国地方教育史学会、日本社会教育学会、生涯学習・社会教育研究促進機構
著 『民衆の感じる痛みに応えようとして生まれた自由大学』(共編著、エイデル研究所、2024) | 『福澤論吉・慶應義塾から官・公・私立学校の別を考える』(『近代教育フォーラム』第24号、2015)

安村 清美
教授



位 修士(文学)
学 お茶の水女子大学文教育学部、お茶の水女子大学大学院人文科学研究科舞踊教育学専攻
職 お茶の水女子大学助手、聖心女子大学専任講師、鎌倉女子大学助教授を経て現職
活 川崎市麻生区「子ども関連ネットワーク会議」委員、社会福祉法人セイワ 評議員、学校法人聖マリアンナ医科大学評議員、川崎市「保育所等整備事業者選定委員会」委員
会 日本保育学会、日本乳幼児教育学会、舞踊学会
研 舞踊教育学・保育学
著 『松本千代栄撰集(Ⅰ～Ⅴ)』全5巻(編集代表、明治図書、2008) | 『松本千代栄撰集第2期・研究編(Ⅰ～Ⅲ)』全3巻(編集代表、明治図書、2010) | 『子ども人間学という思想と実践』(編著、北樹出版、2020)

仙田 考
准教授



位 PhD
学 英国レディング大学大学院園芸・ランドスケープ学専攻 博士課程修了
職 環境デザイン研究所 研究員・東京学芸大学・お茶の水女子大学・田園調布学園大学大学院非常勤講師、鶴見大学短期大学部 准教授等を経て現職
研 子ども・保育・教育環境、自然保育・自然環境教育・ESD・SDGs、園庭・校庭環境、環境デザイン
著 『幼児の屋外遊びと園庭環境』(『発達』179号、ミネルヴァ書房、2024)
会 日本保育学会、こども環境学会、国際校庭園連合日本支部代表(2019-現在)、日本自然保育学会

犬塚 典子
教授(研究科長)



位 博士(教育学)
学 慶應義塾大学大学院社会学研究科教育学専攻博士後期課程単位取得満期退学
職 九州大学特任准教授、京都大学特任教授、京都聖母学院短期大学教授を経て現職
研 教育学、ジェンダー、高等教育
会 日本教育学会、日本比較教育学会、日本教育行政学会、日本社会教育学会、日本保育学会、関西教育行政学会、日本カナダ学会、カナダ教育学会、他
著 『医療専門職のための生涯キャリアストーリー法 ―働く人生を振り返り、展望する』(明石書店、2023) | 『カナダの女性政策と大学』(東信堂、2017) | 『アメリカ連邦政府による大学生経済支援政策』(東信堂、2006)

内藤 知美
教授



位 修士(家政学)
学 お茶の水女子大学大学院家政学研究科児童学専攻修了、同大学院人間文化研究科博士課程単位取得満期退学
職 鎌倉女子大学講師・准教授、東京都市大学教授等を経て現職
会 日本保育学会、日本保育者養成教育学会副会長(2022～現在)、日本乳幼児教育学会、他
研 子どもの学びや育ちを支える保育環境・文化のあり方に関する研究、保育者の成長プロセスの研究、多文化共生社会における子どもの文化や遊び・児童文化財の研究
著 『子どもの権利条約と保育実践』(『発達』174号、ミネルヴァ書房、2023) | 『子どもの権利との対話から学ぶ 保育内容総論』(共著、北大路書房、2022)

横尾 暁子
准教授



位 博士(人間科学)
学 早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程修了
職 東京家政学院大学非常勤講師、田園調布学園大学非常勤講師などを経て現職
研 「食を介した親子関係の発達、食行動および食意識の発達」、いじめの生じる心理・社会的プロセス。
会 日本心理学会、日本発達心理学会、日本保育学会、日本健康心理学会、日本行動科学学会、日本食生活学会、日本保育者養成教育学会、日本小児保健協会
著 『教える・育てる心理学』(共編著、大学教育出版、2025) | 『食べる・育てる心理学』(共著、川島書店、2010)



Topics

川崎市教育委員会との包括連携に関する協定を締結

2025年2月、本学と川崎市教育委員会は包括連携に関する協定を締結しました。相互の有する教育資源を活用して、市内の教育現場で研究実習や参観をするなど、地域に根ざした質の高い学校教員の養成を行っていきます。

修了生／在校生Message

大学院での出会いと学びが省察的実践家としての基盤に

保育現場で先生方を指導する仕事をしています。大学卒業後は、ギタリストとして活動をしていましたが、幼児教育の仕事に携わっていた叔父から声をかけていただいたことをきっかけに、十数年前、保育の分野に転職しました。

転職後、通信教育などを活用しながら保育士資格、幼稚園教諭1種免許状を取得。アメリカの心理学者J. P. ギルフォード博士の理論に基づいて作成した幼児向けの知育教材を全国の幼稚園や保育園に提供し、保育実践をレクチャーしています。保育現場での経験を重ねる中で、さらに専門性を高めたいと考え、「子どもを人間としてみる」という本大学院の理念に感銘を受けて進学を決意しました。

研究テーマは「保育現場における“気になる子ども”の認識から受容まで」。先生の指示に従わない、話を理解しない、集団に入らない、他害行動等といった集団生活の中で社会的規範から逸脱したと捉えられる“気になる子ども”は、保育者から注意や叱責、行動制限を受けやすい傾向にあります。一方で“気になる子ども”を受容的に捉える保育者もいます。本研究では、“気になる子ども”に対する保育者の捉え方を分析し、その視点の種類を見出しモデル化しました。大学院修了後の現在も田園調布学園大学協力研究員として研究を続



一般社団法人 ちやいむ幼児共育研究所 代表理事
田園調布学園大学協力研究員
人間学研究科 子ども人間学専攻 修士課程2024年度修了

白濱 泰一郎さん

け、学会発表等を行っています。

大学院はいいことだらけでした。とりわけ、先生方との出会いは大きな財産です。教育(Educate)は「引き出す」という意味がありますが、まさにこの大学院の先生方が私の学びを引き出してくださいました。また、院生には幼稚園園長や専門養成校の先生などの社会人が多く、授業の中での議論や情報共有は、非常に深い学びになりました。今後も大学院での出会いと学びを生かし、省察的実践家として成長を続けていきたいと思っています。

大学4年から早期履修制度を活用。現場に立ちながら大学院へ

保育士と幼稚園教諭一種免許状の資格を取得し、幼保連携型認定こども園に保育教諭として就職。その後、仕事をしながら大学院入試に挑戦し、現在も現場に立ちながら大学院に通っています。

研究テーマは、保育の現場において「保育者がどのように子どもの怪我を見守り、向き合っているか」についてです。子どもの怪我は起こり得るものでありながら、同時に防がなければならないものでもあります。保育者の「見守り」のあり方には、その人自身の経験や保育観が大きく影響しているのではないかと、そんな仮説のもと研究を進めています。いずれはこの研究が、子どもの怪我予防、そして保育者の育成に役立てることができればと考えています。

田園調布学園大学大学院では、人とのつながりの中で学びが深まっていると実感しています。先生方とも距離が近く、気軽に相談できる関係性も魅力の一つです。

保育は難しさもありますが、子どもや同僚との関わりの中に大きな学びと喜びがある仕事です。将来は養成校で、保育の魅力ややりがいを伝えていけたらと思っています。



幼保連携型認定こども園 保育教諭
人間学研究科 子ども人間学専攻 修士課程2年
田園調布学園大学 子ども未来学部
子ども未来学科2022年卒業

赤坂 秋実さん

大学に在学中、保育の楽しさややりがいに気づく一方で、その難しさにも直面しました。保育以外の道を選ぶ同期も多く、「保育の現場に立つ人たちを支えたい」という思いが自然と芽生えてきました。その思いを形にするためには、大学院で専修免許状を取得し、養成校の教員になることも一つの選択肢だと考えました。大学4年生から早期履修制度を活用し、大学院の講義にも参加。少人数制で先生方や先輩・同期と深く語り合える学びの場に魅力を感じ、大学院への進学を決意しました。大学で

人間学研究科 心理学専攻

修士課程

心理学専攻では、心理学に基づく高度な知識と技術を身につけ、人々の多様な心理的困難に向き合う力を育てます。支援の過程で生じる判断や関わりを「省察」し、より適切な支援へ結びつける姿勢を重視。人の多様性・多元性を尊重しながら心理支援の課題を探究する人間学的学識を基盤とし、支援の意味を問い直し、実践を継続的に改善していく省察の在り方を中心に据えて学びます。公認心理師として質の高い支援を実践できる力を養成します。

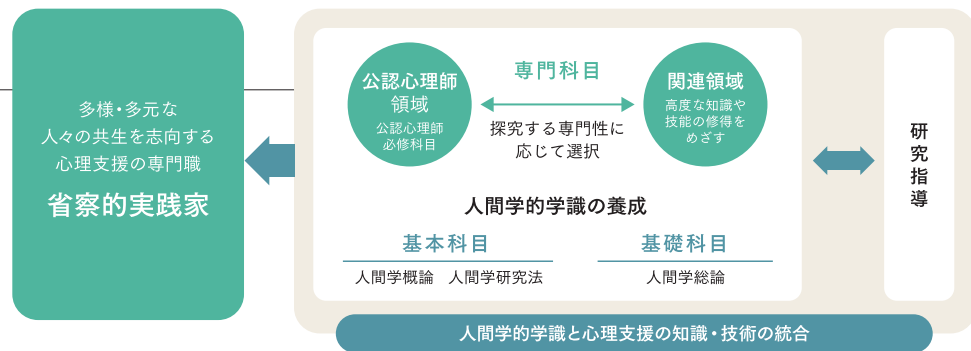
<p>取得できる学位</p> <p>修士 (心理学)</p>	<p>取得可能な資格</p> <p>公認心理師 (受験資格)</p>	<p>標準修業年限</p> <p>2年 ※長期履修制度有り (修業年限を3年または4年に延ばすことが可能)</p>	<p>授業</p> <p>平日夜間 (18:10～) および土曜日</p>
------------------------------------	--	---	---

修士論文テーマ (2025年度の例)

論文タイトル	指導教員
長年大切に持ち続けているモノについて一思春期・青年期の移行対象という概念についての検討ー	大塚 秀実 准教授
子ども時代の遊び経験と大学生の心理特性との関係	黒田 美保 教授
中小企業経営者の職業性ストレスと援助要請行動に関する質的研究	渡邊 由己 教授
遷延性意識障がいのある人を支える主介護者を対象とした心理学的研究ー心理過程と「意識性」の捉え方に着目してー	渡邊 由己 教授
ゲームの課金と背景因子の関連について一親子の信頼関係・承認欲求に着目してー	櫻井 優太 准教授
インクルーシブ保育の理念を母親たちが理解するプロセスの質的分析ーKJ法とTEAを用いてー	笠井 さつき 教授
自閉スペクトラム症成人の感覚特性とWCC仮説との関係	黒田 美保 教授
公認心理師養成大学・大学院に通う学生のメンタルヘルスリテラシーとセルフケアに関する研究	大塚 秀実 准教授
シェパード錯視調整法課題を用いた自閉スペクトラム成人と定型発達成人の錯視感受性と視線指標の比較	黒田 美保 教授
終末期医療における心理職の必要性和可能性の検討	大塚 秀実 准教授
高齢者施設職員の夜間業務におけるストレスについて	伊東 秀幸 教授
契約形態と職場ストレスの関係ーメンバーシップ型雇用とフリーランスの比較ー	櫻井 優太 准教授

※ 今年度、心理学専攻は副指導教員無し

カリキュラム



履修モデル 01

公認心理師の取得をめざし、地域で心理支援を実践する高度な専門職をめざす

履修モデル 02

対人支援専門職である者が、人間学的学識を備えた高度な心理支援の実践家や研究者をめざす

開講科目一覧 (2026年度)

※開講科目および担当教員は変更になる場合があります

科目区分	授業科目名	担当教員	単位数	履修区分	配当学年
基礎科目	人間学総論	米山 光儀	2	必修	1年
	人間学概論Ⅰ(哲学と人間)	安藤 真総	2	選択必修	1・2年
基本科目	人間学概論Ⅱ(文学と人間)	安藤 公美	2	選択必修	1・2年
	人間学概論Ⅲ(政治と人間)	藤森 智子	2	選択必修	1・2年
	人間学概論Ⅳ(芸術と人間)	安村 清美・三政 洋一	2	選択必修	1・2年
	人間学概論Ⅴ(自然と人間)	仙田 考	2	選択必修	1・2年
	人間学研究法	大塚 典子・横尾 暁子	2	必修	1年
専門科目	心理的アセスメントに関する理論と実践	笠井 さつき	2	選択	1・2年
	心の健康教育に関する理論と実践	伊東 秀幸	2	選択	1・2年
	心理支援に関する理論と実践	黒田 美保・笠井 さつき	2	選択	1・2年
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	渡邊 由己	2	選択	1・2年
	保健医療分野に関する理論と支援の展開	伊東 秀幸	2	選択	1・2年
	教育分野に関する理論と支援の展開	大塚 秀実	2	選択	1・2年
	福祉分野に関する理論と支援の展開	安崎 文子	2	選択	1・2年
	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	山岡 あゆち	2	選択	1・2年
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	井上 直美	2	選択	1・2年
	心理実践実習Ⅰ	黒田 美保・伊東 秀幸・井上直美・大塚 秀実	2	選択	1年
	心理実践実習Ⅱ	黒田 美保・伊東 秀幸・笠井 さつき・大塚 秀実	2	選択	1年
	心理実践実習Ⅲ	黒田 美保・伊東 秀幸・笠井 さつき・井上直美	2	選択	2年
	精神医学特論	新井 久稔	2	選択	1・2年
	コミュニティ臨床心理学特論	渡邊 由己	2	選択	1・2年
	認知行動療法特論	高梨 利恵子	2	選択	1・2年
	臨床心理学特論	井上 直美	2	選択	1・2年
	心理学統計法特論	櫻井 優太	2	選択	1・2年
	公認心理師総合演習Ⅰ	黒田 美保・井上 直美	2	選択	2年
公認心理師総合演習Ⅱ	渡邊由己	2	選択	2年	
研究指導	研究指導Ⅰ	黒田 美保・渡邊 由己・笠井 さつき・井上直美・櫻井 優太・大塚 秀実	2	必修	1年
	研究指導Ⅱ	黒田 美保・渡邊 由己・笠井 さつき・井上直美・櫻井 優太・大塚 秀実	2	必修	1年
	研究指導Ⅲ	黒田 美保・伊東 秀幸・渡邊 由己・安崎 文子・笠井 さつき・井上直美・櫻井 優太・大塚 秀実	2	必修	2年
	研究指導Ⅳ	黒田 美保・伊東 秀幸・渡邊 由己・安崎 文子・笠井 さつき・井上直美・櫻井 優太・大塚 秀実	2	必修	2年

修了要件

基礎科目2単位、基本科目中「人間学研究法」は必修、その他の基本科目から4単位選択必修、専門科目から14単位以上を修得、研究指導8単位を修得し、計30単位以上を修得すること。かつ、修士論文を提出してその審査に合格すること。

Topics

田園調布学園大学心理相談室

2024年4月に開設した心理相談室は、大学院生にとって心理臨床を実践的に学ぶ場であると同時に、地域の皆さまの心の健康を支えることを目的としています。人間福祉学部や子ども教育学部、大学院人間学研究科子ども人間学専攻で培ってきた教育・福祉分野の知見と連携しながら活動を展開しています。公認心理師をめざす学生は、有資格教員の指導のもと、心理相談や心理検査などの実践と研究に日々取り組んでいます。



専任教員(心理学専攻)

資 主な保有資格 位 学位 学 主な経歴(学歴) 職 主な経歴(職歴) 研 主たる研究領域・テーマ 活 主な社会活動 会 所属学会 著 主な著書・論文

黒田 美保 教授(副研究科長)



資 公認心理師、臨床心理士、臨床発達心理士
位 博士(医学)
学 東京大学大学院医学系研究科修了
職 大田区公務員(心理職)、ノースカロライナ大学医学部インターン、東京大学大学院教育学研究科客員教授、帝京大学教授等を経て現職
活 公認心理師試験研修センター評議員、日本公認心理師協会常務理事、日本公認心理師会子どもの発達支援委員会委員長、日本心理臨床学会代議員、他
研 社会性の発達、神経発達症、自閉スペクトラム症、心理アセスメント、心理的介入、介入効果検証
著 『これからの現場で役立つ臨床心理検査(解説編)&(事例編)』共編著(金子書房、2023) | 『公認心理師のための発達障害入門』(金子書房、2018)

安崎 文子 教授



資 公認心理師、臨床発達心理士、言語聴覚士
位 博士(障害科学)
学 東北大学大学院医学系研究科博士後期課程修了
職 リハビリテーション病院での臨床の後、大和大学、東京都立大学、埼玉学園大学を経て現職
研 選択性緘黙児の聴覚・言語に関する認知神経心理学的検討
著 『Lesions Responsible for Phonological Paraphasia and Auditory-verbal Short-term Memory Disturbances in Aphasia』(ACTA Neuropsychologica、2012) | 『吃音のある成人における聴性脳幹反応を用いた聴覚伝導路の特徴:左右差からの検討』(『コミュニケーション障害学』、2020) | 『手を動かしながら学ぶ神経心理学』1章、2章5節』(朝倉書店、2021)

井上 直美 教授



資 公認心理師、臨床心理士、中学校・高等学校専修免許状(ドイツ語)
位 博士(学術)
学 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士課程修了
職 東邦大学医学部医学科客員講師、弘前大学大学院保健学研究科教授を経て現職
研 心理療法の効果研究、早期介入、R-PAS、心理アセスメント
会 日本トラウマティック・ストレス学会、日本ロールシャハ学会、日本認知療法・認知行動療法学会
著 『トラウマセラピー・ケースブック:症例にまなぶトラウマケア技法』(分担執筆)(星和書店、2016)

大塚 秀実 准教授



資 公認心理師、臨床心理士
位 博士(心理学)
学 日本女子大学人間科学部心理学科、上智大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程臨床心理学コース修了
職 長谷川病院、帝京大学心理臨床センター、帝京大学学生カウンセリングルーム、帝京大学文学部心理学科
研 学生相談、大学生のメンタルヘルス、公認心理師養成
著 「公認心理師養成像の検討に向けて近接領域から学ぶ—臨床心理士・教員・看護師の資格養成教育の概観—」(共著『帝京大学学生カウンセリング研究』10巻、pp.9-18、2022) | 「COVID-19による閉鎖環境が大学生の精神的健康に及ぼす影響」(共著『マクロ・カウンセリング研究』15巻、pp.74-84、2022)

渡邊 由己 教授



資 公認心理師、臨床心理士
位 修士(教育学)
学 名古屋大学大学院教育学研究科博士後期課程満期退学
職 吉備国際大学心理学部准教授を経て現職
研 コミュニティ臨床心理学・多職種チームケア
活 岡山大学医学部客員研究員(脳神経外科)、岡山県備北保健所思春期ひきこもり相談員、岡山県高梁市いじめ問題対策連絡協議会委員長、他
著 『読んで分かる臨床心理学』(共著、サイエンス社、2021) | 『コミュニティ心理学シリーズ第2巻『コンサルテーションとコラボレーション』』(分担執筆、金子書房、2022) | 『臨床心理学入門事典(現代のエスプリ別冊)』(分担執筆、至文堂、2006)

笠井 さつき 教授



資 臨床心理士、公認心理師、日本精神分析学会認定心理療法士
位 文学博士(心理学)
学 上智大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程/博士後期課程満期退学
職 帝京大学医学部附属病院精神神経科臨床心理士、明治学院大学学生相談センター非常勤カウンセラー、特定非営利活動法人女性心理臨床ラボ代表理事、帝京大学心理臨床センター教授等を経て現職
研 精神分析的心理療法、ライフサイクル、支援者支援
著 『第7章 居場所がない—母親であることの孤立と精神分析のワスレモノ』北山修・荻本快(編著) | 『「川」文化の深層心理学:親子の添い寝と「見る」の禁止』岩波書店、pp.163-180、2024

櫻井 優太 准教授



資 基本情報技術者
位 博士(心理学)
学 愛知淑徳大学大学院コミュニケーション研究科博士後期課程心理学専攻単位修得満期退学
職 愛知淑徳大学心理学部心理学科常勤講師を経て現職
研 感情の生理心理学的研究
会 日本心理学会、日本生理心理学会、日本感情心理学会、東海心理学会
著 「ジョイスティックを用いた感情リアルタイム評定法の作成と妥当性の検討」(共著『感情心理学研究』第16巻、2008) | 「安価な規準化脈波容積(normalized pulse volume)測定装置の設計」(『田園調布学園大学紀要』第14号、2019)

修了生/在校生Message



川崎市役所 こども未来局
南部児童相談所 職員
人間学研究科 心理学専攻
修士課程2024年度修了
橋本 美織さん

昔から人から相談を受けることが多く、どのようにアドバイスするのが一番いいのかを考えるうちに人の心に興味を持ち、心理学を学びたいと思うようになりました。大学の卒論のテーマは「大学生の産婦人科受診の阻害要因について」。大学生が産婦人科を受診しにくい要因が何なのかを心理学的な観点から考察し、自分で調査も行いました。

大学院に進むきっかけは、親から公認心理師の資格取得を勧められたことでした。私自身も将来のことを考え、国家資格で

実務家教員の指導と研究調査の経験を 児童相談の現場で生かす

ある公認心理師の資格取得をめざしたいと思いましたし、大学での学びをもっと深めたいという気持ちもあったので進学を決めました。

田園調布学園大学大学院では、医療、教育、福祉など幅広い分野を学べるのが魅力です。私は、うつ病や精神疾患などの医療分野に興味を持ち、どういった人がなりやすく、どのように対処すれば防げるのか、どんな治療が効果的かなど、さまざまな角度から掘り下げ、研究調査を行いました。

壁にぶつかるともありましたが、先生方との距離感が近く、常に気にかけてくださったことが心強かったですね。実務経験豊富な先生方には相談もしやすく、いつも親身になってアドバイスをくださいました。少し落ち込んでいたときに「あなたらしい明るさを全面に出していけば大丈夫」と励ましていただいたことがとても印象に残っています。

大学院では、これまで接する機会の少なかった社会人経験のある方々と一緒に学び、多様な考えに触れることも大きな刺激になりました。今後も実務家教員の指導と研究調査の経験を児童相談の現場で生かしたいと考えています。

ホースセラピーを通して 子どもたちの成長を支援したい

小学校のときからポニークラブに入り、ポニーに乗ったり世話をしたりするうちに、すっかり馬に夢中になってしまいました。高校も馬術部に入り、ずっと馬に関わる仕事に就きたいと考えていました。所属していたポニークラブでは障がい児ポニー教室を運営しており、運営サポートをする中でホースセラピーに興味を芽生えました。本学で「子どもを対象としたホースセラピーについて研究したい」と指導教員の先生に相談し、ご指導いただいています。先生は子どもを対象とした研究を専門にされており、自分の関心を研究テーマに選べたことに感謝しています。

大学院で学んでみて、少人数のため丁寧に指導していただけることにメリットを感じています。指導教員との距離が近く、研究の進め方や進路相談などできめ細かなサポートを受けることができます。また、社会人の院生から受ける刺激も大きいですね。異なるバックグラウンドを持つ方との交流は、新しい視点や気づきを与えてくれます。

修士論文は、ホースセラピーが障がい児の心理状況と問題行動に与える効果について研究しています。ダウン症のお子さんやさまざまな気質を抱えたお子さんの親御さんからアンケートを取



人間学研究科 心理学専攻 修士課程2年
田園調布学園大学 人間科学部
心理学科2023年度卒業
山下 ひかるさん

らせていただきました。馬に癒されるだけでなく、馬を介して社会性を育むことも期待しています。

先日は富士山の麓の広大なフィールドで行われるホースセラピーにインターンとして行って来ました。学業のかたわら、学生主体で運営している3泊4日の牧場キャンプにボランティアスタッフとして関わったりもしています。将来は公認心理師の資格を生かし、ホースセラピーを通して子どもたちの成長を支援したいと考えています。

入学者選抜 [2027年度]

試験日程

区分	入試制度	出願期間(消印有効)	選考日	合格発表(郵送)	手続締切日(消印有効)
I期	一般入試	2026年9月14日(月) ～9月23日(水)	2026年 10月3日(土)	2026年 10月6日(火)	2026年 10月16日(金)
	推薦入試				
	社会人入試				
II期	一般入試	2026年11月16日(月) ～11月25日(水)	2026年 12月5日(土)	2026年 12月8日(火)	2026年 12月18日(金)
	推薦入試				
	社会人入試				
III期	一般入試	2027年1月25日(月) ～2月3日(水)	2027年 2月13日(土)	2027年 2月16日(火)	2027年 2月26日(金)
	推薦入試				
	社会人入試				
IV期 ※子ども 人間学 専攻のみ	一般入試	2027年2月15日(月) ～2月26日(金)	2027年 3月6日(土)	2027年 3月8日(月)	2027年 3月12日(金)
	推薦入試				
	社会人入試				

選考方法 ※心理学専攻はIV期の選考を実施致しません。

入試制度	子ども人間学専攻	心理学専攻
一般入試	・筆記試験(専門科目) ・口述試験(面接)・書類審査	・筆記試験(専門科目・英語) ・口述試験(面接)・書類審査
推薦入試	・小論文・口述試験(面接) ・書類審査	・筆記試験(専門科目) ・口述試験(面接)・書類審査
社会人入試	・口述試験(面接) ・書類審査	・筆記試験(専門科目) ・口述試験(面接)・書類審査

アドミッションポリシー

子ども人間学専攻

- ①人間学的学識に基づく人間学の基礎を学び、また保育・教育の現場での経験を省察し、大学院での学問的探究に積極的に取り組むことができること。
- ②子どもへの関心と共感を持ち、その育ちを支える実践や環境づくりに積極的に取り組み、子ども人間学の研究に携わろうという意欲があること。
- ③幼稚園・認定こども園・保育所・学校・その他の児童福祉施設あるいは地域子ども・子育て支援事業の関連施設における保育・教育の充実に関わろうとし、そのために自らの研究を進めようとする意欲があること。

心理学専攻

- ①**知識・技能** | 心理学研究に不可欠な専門的基礎知識、特に心理支援に必要とされる心理アセスメント、介入についての基礎知識、技術を身につけていること。
- ②**思考力・判断力・表現力** | 心理学研究遂行に必要な倫理的判断力、思考力及び表現力を身につけていること。
- ③**意欲・関心・態度** | 建学の精神「捨我精進」に沿って、他者と協同して教育・研究・実践に当たることができ、人間の多様性、多元性の共生を志向する心理支援の専門家として社会に貢献する目標を持っていること。

Topics

入学資格審査制度

短大卒業者や専門学校卒業者にも受験チャンス

短大卒業者や専門学校卒業者であっても、入学試験前に入学資格審査を受けることによって、本学が大学卒業者と同等の学力があると認めた場合、入学試験を受けることができます。選考方法は、書類選考(必要に応じて面接を実施)です。詳細は大学院事務室までお気軽にお問い合わせください。

● 入学資格審査日程

区分	受付期間(消印有効)	審査日	結果発表(郵送)
1回目	2026年8月17日(月) ～8月26日(水)	2026年9月5日(土)	2026年9月8日(火)
2回目	2026年9月14日(月) ～9月23日(水)	2026年10月3日(土)	2026年10月6日(火)
3回目	2026年11月16日(月) ～11月25日(水)	2026年12月5日(土)	2026年12月8日(火)
4回目	2027年1月25日(月) ～2月3日(水)	2027年2月13日(土)	2027年2月16日(火)

学費

標準修業年限(2年間)

(単位:円)

項目	子ども人間学専攻				心理学専攻			
	1年次		2年次		1年次		2年次	
	入学手続時	後期	前期	後期	入学手続時	後期	前期	後期
入学金	200,000	-	-	-	200,000	-	-	-
授業料	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
施設費	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
教育充実費	50,000	-	50,000	-	50,000	-	50,000	-
実習費	-	-	-	-	40,000	40,000	400,000	40,000
納付金合計	600,000	350,000	400,000	350,000	640,000	390,000	440,000	390,000
年間納付金額	950,000		750,000		1,030,000		830,000	

長期履修制度(3年間)

(単位:円)

項目	子ども人間学専攻						心理学専攻					
	1年次		2年次		3年次		1年次		2年次		3年次	
	入学手続時	後期	前期	後期	前期	後期	入学手続時	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	200,000	-	-	-	-	-	200,000	-	-	-	-	-
授業料	170,000	170,000	165,000	165,000	165,000	165,000	170,000	170,000	165,000	165,000	165,000	165,000
施設費	70,000	70,000	65,000	65,000	65,000	65,000	70,000	70,000	65,000	65,000	65,000	65,000
教育充実費	40,000	-	30,000	-	30,000	-	40,000	-	30,000	-	30,000	-
実習費	-	-	-	-	-	-	30,000	30,000	30,000	30,000	20,000	20,000
納付金合計	480,000	240,000	260,000	230,000	260,000	230,000	510,000	270,000	290,000	260,000	280,000	250,000
年間納付金額	720,000		490,000		490,000		780,000		550,000		530,000	

※ 本学出身者の入学金は、100,000円。

※ 納付金の納入時期は、初年度は入学手続時と後期(9月)に分納。2年次以降は前期(4月)・後期(9月)に分納。

※ 本学の教育研究活動の充実及び施設設備の拡充を図るため、入学後、任意の寄付金のご協力をお願いすることがあります。

※ 修了年次の納付金(後期分)に合わせて、同窓会費20,000円を別途納入いただけます。

※ 長期履修学生制度(4年間)の学費については募集要項をご確認ください。

Topics

奨学金・給付制度のご案内

日本学生支援機構奨学金

独立行政法人日本学生支援機構による奨学金制度(貸与)です。

教師になった方に対する奨学金の返済免除制度

対象 子ども人間学専攻

専修免許状を取得し教員採用選考等に合格するなど、所定の条件を満たす方は大学院在籍時に貸与を受けた日本学生支援機構第1種奨学金の返済が免除されます。



教育訓練給付制度(一般教育訓練給付金)

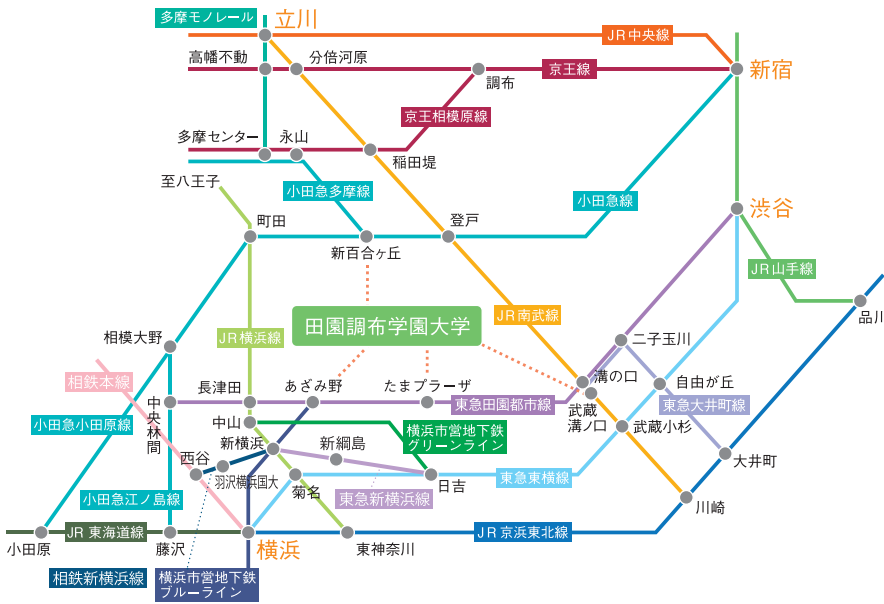
対象 子ども人間学専攻・心理学専攻

働きながらの学び直しやキャリア形成を支援する、国の雇用保険による給付制度です。本研究科は、一般教育訓練給付金の対象講座です。

一定条件を満たし2年間で修了後、本人がハローワークへ申請すると、入学金・授業料等の20%(上限10万円)が支給されます。



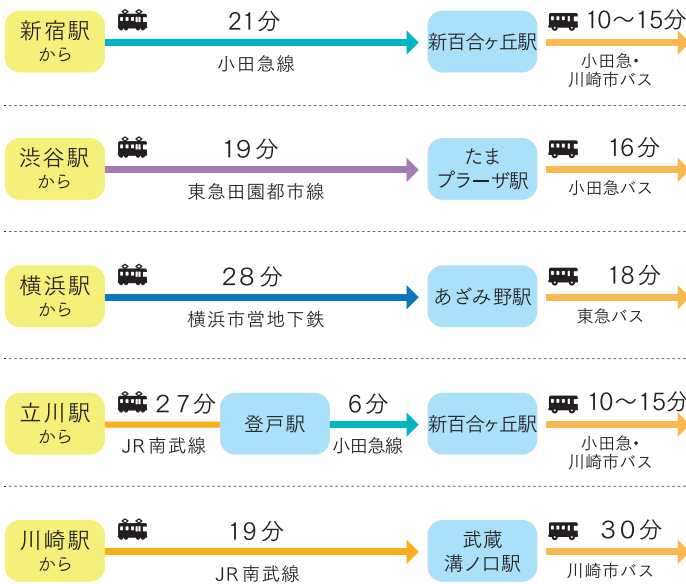
● アクセスマップ



● 徒歩マップ



● 主な駅からの大学への所要時間



田園調布学園大学

最寄駅からのバス便

- 小田急線「新百合ヶ丘駅」下車→小田急バス⑦番のりば「田園調布学園大学行」終点下車(バス約10分)
- 小田急線「新百合ヶ丘駅」下車→小田急バス⑦番のりば「たまプラザ駅行」田園調布学園大学前下車(バス約10分)
- 小田急線「新百合ヶ丘駅」下車→川崎市バス②番のりば「溝ノ口南口行」田園調布学園大学前下車(バス約15分)
- 東急田園都市線「たまプラザ駅」下車→小田急バス⑥番のりば「新百合ヶ丘駅行」田園調布学園大学前下車(バス約16分)
- 東急田園都市線・横浜市営地下鉄「あざみ野駅」下車→東急バス④番のりば「田園調布学園大学行」終点下車(バス約18分)
- JR南武線「武蔵溝ノ口駅」・東急田園都市線・東急大井町線「溝ノ口駅」下車→川崎市バス南口④番のりば「新百合ヶ丘駅前行」田園調布学園大学前下車(バス約30分)

入学相談会

9/5(土)

10/24(土)

11/14(土)

12/5(土)

2027
1/23(土)

研究室訪問や授業見学は、希望者と日程調整のうえ随時対応します。大学院事務室までお問い合わせください。



田園調布学園大学大学院

お問い合わせ先 田園調布学園大学 教学支援課 大学院事務室 Tel. 044-966-3565(直通) Fax. 044-966-1775
〒215-8542 神奈川県川崎市麻生区東百合丘3-4-1
Mail : daigakuin@dcu.ac.jp URL : https://www.dcu.ac.jp